

各種調査項目とそのねらい

1. 乗降調査

調査概要

- ・時期：2024年10月
- ・対象：ふれあいバス（平日1日）・ふれあい予約バス（平日5日間）の全便全利用者
- ・方法：ビンゴカード形式の調査票を乗車時に配布、降車時に回収
- ・目的：路線別、便別の利用実態及び公共交通相互の乗継利用等の把握

資料2：乗降調査票

項目案		回答方式	調査項目のねらい
①	お住まいの地域	選択	属性別の分析をする上での基礎データとして使用。
②	年齢	選択	
③	利用目的	選択	バスの利用状況、乗継、往復利用の特性を把握。
④	乗り継ぎ	選択	
⑤	利用頻度	選択	
⑥	往復利用	選択	
⑦	最終目的地	選択	
⑧	利用路線と利用便	調査者が記入	乗降バス停を把握し、バス停間ODを把握。
⑨	乗降バス停	調査者が記入	

2. 利用者アンケート調査

調査概要

- ・時期：2024年10月
- ・対象：ふれあいバス（平日1日）・ふれあい予約バス（平日5日間）の全便全利用者
- ・方法：調査票を乗車時に配布、郵送回収、Web回答も併用
- ・目的：サービス項目別の満足度や改善点の把握

資料3：利用者アンケート

項目案		回答方式	調査項目のねらい
問1	① 性別	単一選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用。
	② 年齢	単一選択	
	③ お住まいの地域	単一選択・記述	
	④ 健康状態	単一選択	
	⑤ 自家用車（送迎を含む）の利用頻度	単一選択	
	⑥ 自動車運転免許の有無と運転状況	単一選択	
問2	① アンケートを受け取ったバス路線	単一選択	バスの利用状況を把握。満足度と利用状況のクロス集計により、路線別や利用状況別の満足度や改善事項を分析。
	② 乗車、降車したバス停・乗車日時	記述	
	③ 利用目的	単一選択・記述	
	④ 当日の最終目的地	単一選択・記述	
	⑤ 利用頻度	単一選択	
	⑥ 支払方法	単一選択	
	⑦ 前後の乗り継ぎ	複数選択	
	⑧ 往復利用	単一選択	
	⑨ 「行き」または「帰り」のみの理由（※片道利用者のみ）	単一選択・記述	
	⑩ 「行き」または「帰り」の交通手段（※片道利用者のみ）	複数選択・記述	
問3	① 利用したバス路線のサービス項目別満足度・重要度 ※現計画の目標値 具体的な不満理由や改善アイデア	単一選択・記述	バスに関する項目別満足度、重要度を把握し、改善策の検討に活用。
	② 改善された場合の利用意向	単一選択	
	③ 乗車したバスに期待する役割	複数選択	利用者が期待する役割を把握。
問4	① 公共交通の情報を検索するときに使用する機器	単一選択	情報提供方法の検討に活用。
	② よく検索する項目	複数選択	
問5	公共交通に対する町と利用者の費用負担のあり方	単一選択	費用負担のあり方の利用者の意向を把握。

問6	公共交通を確保・維持するために自身ができること	単一選択	地域連携の可能性を把握。
問7	公共交通の利便性を高めるアイデア	自由記述	公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。

3. 住民アンケート調査

調査概要

- ・時期：2024年10月
- ・対象：15歳以上の住民1,700人
- ・方法：郵送による配布・回収、Web回答も併用
- ・目的：住民の日常的な移動実態、公共交通の利用意向等の把握

資料4：住民アンケート

項目案		回答方式	調査項目のねらい
問1	① 性別	単一選択	以降の回答結果について、属性別の分析をする上での基礎データとして使用。
	② 年齢	単一選択	
	③ お住まいの地域	単一選択	
	④ 健康状態	単一選択	
	⑤ 自家用車（送迎を含む）の利用頻度	単一選択	
	⑥ 自動車運転免許の有無と運転状況	単一選択	
	⑦ 運転免許を返納した（しようと思う）年齢	単一選択	
	⑧ 運転免許返納後に利用したい（利用している）移動手段	複数選択・記述	
問2	① 普段の外出の目的	単一選択・記述	日常的な生活交通圏域、交通行動の実態、地区別の交通特性（交通手段選択等）を把握。
	② 普段の外出の目的地	単一選択・記述	
	③ 普段の外出の頻度	単一選択	
	④ 普段の外出の自宅から目的地までの所要時間	数値記入	
	⑤ 普段の外出の移動手段	複数選択・記述	
問3	御嵩町の公共交通について知っていること ※現計画の目標値	複数選択	公共交通の認知度より利便性向上に向けた周知項目を検討。
問4	① 御嵩町の公共交通全体の満足度 ※現計画の目標値	単一選択	全体の満足度を把握し、改善策の検討に活用。
	② 具体的な不満理由	記述	
問5	① この1年間の広見線、ふれあいバス、ふれあい予約バス、YA0バス、タクシーの利用頻度	単一選択	バス、タクシーそれぞれの利用状況及び非利用者が利用可能となる条件を把握。
	② 広見線、ふれあいバス、ふれあい予約バス、YA0バス、タクシーの満足度	単一選択	
	③ 広見線、ふれあいバス、ふれあい予約バス、YA0バス、タクシーの不満が解消する、または利用が可能となる条件	複数選択・記述	
	④ 条件が改善した場合の利用意向	単一選択	
	⑤ 各公共交通に期待する役割	複数選択	
問6	その他移動サービスの利用頻度（スクールバス、企業バス、福祉サービス等）	複数選択・記述	公共交通以外の移動サービスの利用状況を把握。
問7	① 公共交通で行きたいエリア（近隣市町）	単一選択・記述	住民の潜在的な移動ニーズを把握。観光連携の施策検討に活用。
	② 公共交通で行きたい施設（公共施設・観光施設）	記述	
問8	① 公共交通の情報を検索するときに使用する機器	単一選択・記述	情報提供方法の検討に活用。
	② よく検索する項目	複数選択	
問9	公共交通に対する町と利用者の費用負担のあり方	単一選択	費用負担のあり方の住民意向を把握。
問10	公共交通を確保・維持するために自身ができること	単一選択・記述	地域連携の可能性を把握。
問11	公共交通の利便性を高めるアイデア	自由記述	公共交通の利便性を高めるためのアイデアを募る。

4. 関係者ヒアリング

調査概要

- ・時期：2024年12月
- ・対象：交通事業者（東濃鉄道株式会社、可児タクシー株式会社）
- ・方法：質問票を事前送付し、直接ヒアリング
- ・目的：公共交通の安全性・定時性の課題、利便性向上に資する施策案の把握

項目案		調査項目のねらい
①	サービス水準・利用状況	基礎情報を把握。
②	安全な運行の確保における問題点	危険箇所や運営上の課題を把握。
③	安定的な運行の提供における問題点	
④	利用者からの要望	事業者に寄せられる利用者の要望を把握。
⑤	公共交通の利便性向上に資するアイデア	公共交通の維持・活性化に向けたアイデアや、協力意向を把握。
⑥	行政・地域との連携の可能性	